

青少年プラザイベント 出張版

つくってみよう! やってみよう!

おうちで楽しく遊べる工作や学び方 [Part3]

生涯学習センター 1 階の青少年プラザでは、子どもや家族を対象にした工作や遊びのイベントを実施しています。今回は家族で楽しみながらできる「あたまのたいそう」を紹介します。

いろいろ 12 コ

食べ物、動物、家にあるものなど、テーマごとに 12 コの名前をどれだけ思い出せるかな?

脳トレになるから子どもから高齢者まで、家族みんなで楽しめるよ。

【あそびかた】

①いろいろな 12 コの名前を表に書いてみよう。

絵を描いてもいいよ。

例) 動物、魚、最初に「か」が付く言葉、色から連想 (赤いもの、青いものなど)、季節 (春・夏・秋・冬) からの連想、好きなマンガのキャラクター、漢字の部首 (さんずいの漢字、しんじょうの漢字) など、いろいろアレンジできるよ。

② 1 分間程度、表を見て、書き出したことばを覚えよう。

③表を見ないで、覚えていることばを書きだそう。

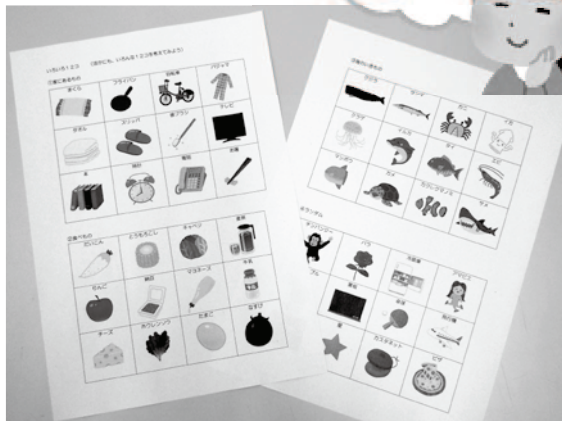
★さらにチャレンジ!

- ・どこに何が書かれていたか、表に書いてみよう。
- ・テーマを決めず、まぜこぜ 12 コでも面白いよ。

☆ 12 コ思いつくかな?
いっぱい思いついたら
まずは 12 コ!

お題はスイーツ!
えっと、プリン、
パンケーキ、アップル
パイ、チーズケーキ、
チョコパフェ、クレープ、
おまんじゅう、アイス
………12 コに
おさまらない。

↓絵にするとみんなも
覚えやすいかな



どこにある? 都道府県

都道府県、どこにあるか全部書けますか?

日本地図 (白地図) に都道府県名を入れてみよう。

★さらにチャレンジ!

①都道府県名を漢字で書いてみよう。

②都道府県庁所在地は、どこ (何市) にあるかわかるかな?

③都道府県の場所が正しく書けたら、都道府県ごとに切り取ろう! パラバラにしたらパズルのように日本地図を完成させよう。



リビングに辞書を

テレビを見ている時、新聞を読んでいる時、おうちの人と話している時、わからない言葉が出てきたら、調べてみよう!

国語辞典、英和辞典などを、家族が集まる場所において、みんなで使ってみよう。

★さらにチャレンジ!

「地図」もオススメ!

ニュースに出てきた国などがわかると楽しいよ。

(参考:『辞書びきえほん世界地図』『日本地図』)



ホームページでも見ることができます。
最新の工作遊びも随時更新中。

問い合わせ先

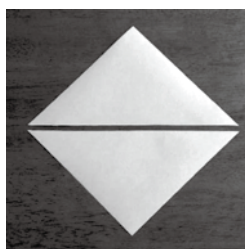
生涯学習課 生涯学習推進・青少年担当
☎ (918) 3535 (代表)

「もやい」とは、地域共同体をさしてあり、地域のふれあいや仲間づくり・連帯をあらわすことばです。お互いに交流・連帯して地域づくりをすすめたいという願いをこめて名付けました。

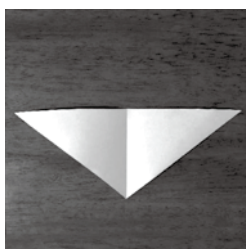
『STAY HOME』をがんばっている皆さんへ ～ 身近な材料でできる「おり紙の鳥」を作ってみよう！～

【おり紙の鳥の作り方】

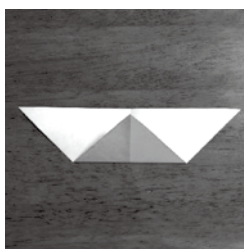
・材料は、おり紙1枚とホチキス・はさみがあればOK！
ひとりでも、きょうだいでも、家族でもチャレンジできるよ。



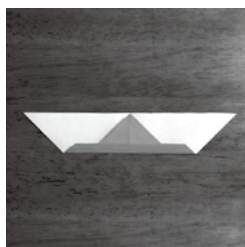
①おり紙を三角に切る



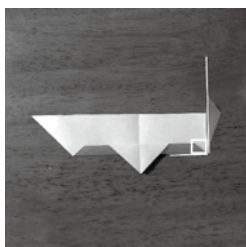
②真ん中におりせんをつける



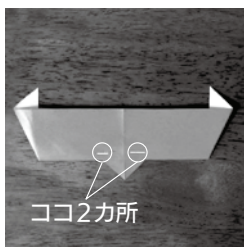
③角をおりせんにあわせて折る



④約1.5cm位折り上げる

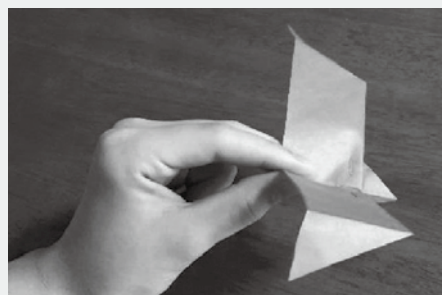


⑤角を折り下げ、羽の部分を直角になるよう折る



⑥うら返して、重なった部分を2カ所ホチキスで止める

【飛ばし方】



①色がついている面を上にして「たおり」にして、両はしの羽を広げて、ひとさし指、おや指、なか指の3本で持ちます。
②かるくひじを曲げて、頭の高さから指を放して飛ばします。
※右や左に曲がったりしたら、羽の角度や飛ばし方を工夫してみよう。

【あそび方】

①普通に飛ばしてみよう！
②どの位の距離まで飛ばかチャレンジ！
③どの位の時間飛んでいるかチャレンジ！
④おり紙だけでなく、他の紙で作って飛ばしてみよう！

STAY HOMEが 終わったら

子ども会に参加してみませんか？

★「子ども会」は大人が子どもを楽しませる会
と思いませんか？

子どもたちが集まって、活動内容を自主的に企画・運営することが大事です。育成会は、子ども会を支援する大人の会です。

★「遊び」は、勉強や塾、習い事と同じように
大事な体験活動です。

特に幼児期から児童期にあたる子どもたちにとって、社会性、生活の知恵、体力・運動能力・器用さなどの「力」を育み、心の緊張を解消し安定を保つと言われています。



★子ども会活動は、「成功経験」「失敗経験」ができる
身近な活動です。

地域の中で、子どもたちは行事や活動を通して、成功経験（自分の思うようになること）や失敗経験（自分の思うようにならないこと）を繰り返しながら、年齢に応じた成長をしていきます。2つの経験がバランスよく取れた時に「自立心」が身につきます。

市子連と生涯学習課は
「地域の子ども会活動の推進」を
支援しています。

◎筑紫野市子ども会育成会連絡協議会（市子連）
◎筑紫野市生涯学習課生涯学習推進・青少年担当
☎（918）3535（代表）

子ども会会員の皆さんへ

屋内で過ごす時間が増えていると思います。この時間を使って子ども会で楽しめるゲームやニュースポーツなどを調べて、ステキな企画を作ってください。

ニュースポーツ

検索

パソコンで検索してみよう！

【筑紫野市人権尊重のまちづくりスローガン】

「自分が人からされたり、言われたりして いやなことは、自分は人にしない、言わない」

平成29年度筑紫野市総合教育会議にて、子どもにも大人にも理解でき、実践に移せるスローガンとして決議されました。